



世界に希望を生み出そう
RI会長 ゴードン R. マッキナリー

2023-2024年



Rotary District 2640 Japan

ROTARY CLUB OF KAINAN EAST

海南東ロータリークラブ

会長 岸 友子 幹事 角谷 太基 SAA 田中 祥秀

第 2161 回例会

2023 年 12 月 4 日(月)

美登利 19:00~

年次総会

お誕生日、結婚記念日のお祝い

1. 開会点鐘

2. 国歌斉唱

「君が代」

3. ロータリーソング

「奉仕の理想」

4. ゲスト紹介

米山記念奨学生 ファム・ドウ・ヒエン さん

5. 出席報告

会員総数 40 名 出席者数 34 名

出席義務規定適用免除会員 2 名

出席率 89.47% 前回修正出席率 68.42%

6. 会長スピーチ

会長 岸 友子 君

みなさん、こんばんは。年末のお忙しい中多数ご出席ありがとうございます。今年は秋がなく夏から一気に冬になった感じなので、結構寒さが身に染みていますがどうやら暖冬のようなですね。私事ですが、先週インフルエンザの予防接種もし、12月中旬には7回目のコロナワクチンも接種予定で、残すところ半年のロータリー後半戦の皆勤に備えようと思っています。



本日は12月第1例会です。今月、お誕生日、ご結婚記念日を迎えられるみなさんおめでとございます。米山奨学生のファム・ドウ・ヒエンさんが月次訪問日でお越しいただいております。ようこそおいでくださいました。

さて、12月は「疾病予防と治療月間」です。流行の新型コロナウィルスやインフルエンザに感染しないように予防することはもちろんのこと、現在かかっている病気を徹底的に治す努力をすることが大事だと思います。ロータリーの友 12月号には「認知症を知り、共に生きる地域づくり」という特集が組まれており、また、広報かいなん 12月号にも「認知症市民講演会レポート」として10/1に開催された講演会の内容が紹介されていました。世界一の長寿国の日本は高齢

者人口の増加に伴い認知症発症者数も増加の一途をたどっています。海南市の講演会講師のお一人は、41歳の時に若年性アルツハイマー型認知症と診断され、現在は団体の代表として認知症の方々のサポートをしておられるそうです。病気になると孤独になります。家族が、仲間が患者さんを支え、地域社会が協力体制を整え、ロータリークラブもお力添えできればと思います。

本日の例会は定款第7条第2節に謳われている年次総会です。役員を選挙するため、現年度の収入と収支を含む中間報告及び前年度の財務報告を発表するための年次総会は、細則第5条第1節により、毎年12月第1例会に開催し、次年度の役員と理事の選挙を行うとされています。例会終了後年次総会を執り行いますのでよろしくお願いいたします。

7. 幹事報告

幹事 角谷 太基 君

○例会臨時変更のお知らせ

粉河 RC 12月13日(水)→ 13日(水)

18:00~ ダイワロイネットホテル和歌山
広東料理「蘭香園」(忘年家族例会)

和歌山東南 RC 12月27日(水)→ 23日(土)

18:30~ ホテルアバローム紀の国
「クリスマス親睦家族例会」

○例会休会のお知らせ

和歌山東南 RC 12月13日(水)

粉河 RC 12月27日(水)

高野山 RC 12月29日(金)

田辺東 RC 1月3日(水) 17日(水) 31日(水)

○ガバナー事務所及びガバナーエレクト事務所

年末・年始休暇のお知らせ

12月28日(木)~1月8日(月・祝)

○12月ロータリーレート

1\$ = 147 円

12月は「疾病予防と治療月間」



世界でよいことをしよう

四つのテスト 実行はこれにてから

- ①真実かどうか ③好意と友情を深められるか
②みんなに公平か ④みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002

海南市日方 1294 (海南商工会議所 4F)

TEL-073-483-0801 FAX-073-483-2266

<http://www.kainaneast-rc.jp>E-mail: info@kainaneast-rc.jp

8. 米山功労者の表彰

小椋 孝一 君



9. 米山記念奨学金の贈呈

米山記念奨学生 ファム・トゥ・ヒエン さん



何時も有難うございます。

10. 年次総会

会長 岸 友子 君

早いもので、今年度も半年が過ぎ前期が終わろうとしています。先程述べましたように、当クラブ定款・細則の規定により、本日12月第1例会が年次総会となります。予算、中間報告の承認と次年度の理事・役員の選出をお諮りします。



指名委員会で推薦された次年度の理事・役員の候補者は満場一致で選出されました。



次年度理事・役員 (敬称略)

会長(エレクト)	田岡 郁敏
直前会長	岸 友子
会長ノミニー	大江 久夫
副会長	前田 克仁
幹 事	楠部 均
会場監督	前田 誠吏
会 計	谷脇 良樹
理 事	宇恵 久視
理 事	角谷 太基
理 事	岡 洋平
理 事	田中 淳
理 事	榊原 由希子
理 事	上野山 雅也



10. 閉会点鐘

次回例会 第2162回 2023年12月11(月)
海南商工会議所 4F 12:30～

ゲスト卓話

(株)オプラス 社長 上中 嵩司 様
「和歌山東ロータリークラブ」について



ニコニコ・BOX



Happy birthday !
12 月のお祝い



○会員誕生日

14日 宇恵 久視 君
17日 寺下 卓 君

16日 田岡 郁敏 君

○奥様・旦那様誕生日

21日 重光 りえ 様
27日 中西 尚子 様

24日 奥 昌美 様

○結婚記念日

6日 前田 克仁 君

○一般ニコニコ

角谷 太基 君 中間会計報告、数字の桁間違えました。ネットサギにあいました。

奥 喜全 君 最近、出来ることが増えました。

新垣 直樹 君 奥先生が見えて嬉しいです。

上野山雅也君 次年度会長の田岡さん、その次の会長、少々心配です。

花畑 重靖 君 京都に行きます。

山東 剛一 君 最近、少々勝手つんぽです。

谷脇 良樹 君 大江ノミニー喜んでいました。

土井 元司 君 この1年ありがとうございました。

小椋 孝一 君 米山功労者マルチプル7回目です。

桑添 剛 君 奥先生、久しぶりに例会でお会い出来てよかったです。

楠部 均 君 最近、うれしいこと2つありました。
寺下 卓 君 80会、欠席ですみません。家内と旅行に行ってきました。

上中 嗣郎 君 花田さんの次かな？82歳です。

才力 昭浩 君 同級生と京都へゴルフ、夜は楽しくて。

山名 正一 君 上中さんご夫婦とハワイへ行ってきました。関空でトラブルがあり、羽田から出発しました。

箕嶋 利一 君 土・日・月とゴルフ入っています。

魚谷 幸司 君 岸会長、あと半年、奥先生宜しく！

前田 克仁 君 あれが流行大賞、あと3年は大丈夫、阪神ネタでがんばります。

田岡 郁敏 君 娘の駅伝の試合を観に淡路島に行ってきました。

岸 友子 君 あと半年で会長が終了、頑張ろう。
総田さよ志君 仕事で久しぶりにアロチのラウンジに行ってきました。孫が出来て顔が

優しくなったと言われました。

楠山友加江君 孫が誰にでもママというようになりました。

中村 俊之 君 あと半年あつという間です。

宇恵 久視 君 1週間ほど家で食事をしなかったの
で、奥さんの機嫌が悪いです。

千賀 知起 君 ヒエンさんとお会いできてよかったです。

前田 誠吏君 トウモロコシが届きました。去年の新春夫婦例会の商品です。

倉橋 利徳 君	クリニックの前の道の拡張工事で 駐車場が取れましたが、横の土地 が手に入りました。
重光 孝義 君	タイへ行って来ました。
上田 善計 君	11月12日にひ孫が生まれました。
大江 久夫 君	今から、会長ノミニーにプレッシャ ー。
中西 秀文 君	あと半年しかないので、岸会長 頑張ってください。
榊原由希子君	米山奨学金生のヒエンさん1/28ベ トナム料理ホーとデザート皆さんに ヒエンさん。
山畑 弥生 君	岸会長、半年間ご苦労様でした。
田中 淳 君	車、ぶつけました。

Rotary NEWS

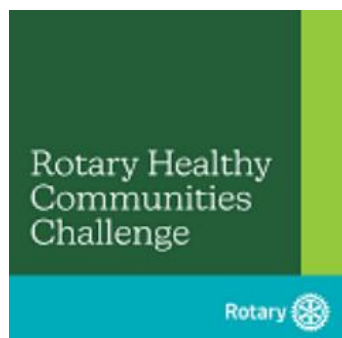
ロータリー健康な地域社会チャレンジ

ロータリーの大規模プログラム補助金の最初の受領プログラム「マラリアのないザンビアのためのパートナー」の成功を受け、ビル&メリンダ・ゲイツ財団とワールドビジョンとの戦略的パートナーシップを土台とする新たな疾病の予防・治療の補助金プログラムを創設する機会がもたらされています。

「ロータリー健康な地域社会チャレンジ」は、2024年から2027年まで、アフリカの4カ国で実施されます。このチャレンジは、対象国のロータリー会員に長期的なリソースを提供し、5歳未満の子どもの最大の死因であるマラリア、下気道感染症、下痢などの重病や死亡を減らすための大規模で効果の高いプログラムを実施できるようにするものです。これらのプログラムは、弱い立場にある人びとに焦点を当て、持続可能な保健システムの利用と品質を高めます。

ロータリーの大規模プログラム補助金の第1回受領プログラム「マラリアのないザンビアのためのパートナー」は、ロータリーとビル&メリンダ・ゲイツ財団およびワールドビジョンとの戦略的パートナーシップを生かす機会となりました。この成功を受け、疾病予防と治療に関する新しい補助金プログラム「ロータリー健康な地域社会チャレンジ」が導入されることになりました。このチャレンジは、2024年から2027年にかけて4カ国で実施されます。受領者は、シンガポールロータリー国際大会にて発表されます。

「ロータリー健康な地域社会チャレンジ」は、対象国のロータリー会員に長期的なリソースを提供し、5歳未満の子どもの最大の死因であるマラリア、肺炎、下痢などの重病や死亡を減らすための大規模で効



果の高いプログラムを実施できるようにするものです。このチャレンジは、弱い立場にある人びとに焦点を当て、持続可能な地域社会保健システムを向上させることを目的としています。

参加4カ国（ザンビア、コンゴ民主共和国、モザンビーク、ナイジェリア）は、疾病の深刻さ、国内におけるロータリー会員の参加と存在、パートナーシップの可能性、保健省の戦略との整合性に基づいて選ばれました。「ロータリー健康な地域社会チャレンジ」は、ロータリアンによる主導の下、支援します。各国の申請者は、高い成果と持続的な変化をもたらせるプログラムを構築し、成果を測定するために強力なモニタリングと評価のシステムを使用する必要があります。

マラリア、下気道感染症、下痢性疾患は、2000年以降大幅に減少したにもかかわらず、主にサハラ以南のアフリカでは、いまだに5歳未満の子どもの非致死性あるいは致死性の疾病の主な原因の一つとなっており、この地域では2017年、この年齢層の100万人が死亡しました。ポリオ根絶活動の一環として地域社会を基盤に築かれたインフラは、世界の保健において

末永く続く恩恵をもたらしました。これは現在、ほかの疾病から数百万の人びとを守るためにも役立てられます。

RI 会長からのメッセージ(12月)

RI 会長 ゴードン R. マッキナリー

私は、12月にドバイ（アラブ首長国連邦）で開催される国連気候変動枠組条約第28回締約国会議（COP28）に出席します。そこで、気候とメンタルヘルスという二つの世界的な危機のつながりについて話す予定です。世界保健機関（WHO）が指摘しているように、気候変動は、家や生活の混乱など、精神衛生上の問題のリスク要因を悪化させてと言われています。災害による精神的な苦痛により、回復と立ち直りが難しくなります。



ロータリーのパートナーであるシェルターボックスは、国際的な災害救援慈善団体であり、緊急避難所、必需品、技術サポートを提供し、約100カ国で250万人以上の避難民を支援してきました。今月のメッセージでは、シェルターボックスCEOのサンジ・スリカンサンさんのお話を紹介したいと思います。スリカンサンさんは、災害を表す言葉を選ぶことが重要であると説明しています。

「自然」災害という用語は、熱帯暴風雨、洪水、地震、火山噴火を表すために長い間使われてきましたが、現在では、この用語を急速に変えていく必要があります。「自然」というと無害に聞こえるかもしれませんが、私たちは必ずしもこの用語を正しく使ってきたわけではありません。被災地での活動を通じて学んだのは、この用語が、こうした甚大な被害は防ぎよ

うがないものだという危険な迷信を作りだしてしまっているということです。このような誤解を招く有害な考えは、支援を必要とする人びとを助けるための行動の欠如につながる可能性があります。

つまり、私たちが使用する言葉は重要であるということです。災害を「自然」として見なすと、自然と人間の行動の複雑な相互作用や、それが世界中の地域社会にどのような影響を与えるかについての認識が難しくなってしまいます。

地震、津波、火山噴火、強烈な嵐、干ばつ、洪水は地球における自然なプロセスとして発生します。しかし、これらの出来事が人や環境にどのような影響を与えるかによって、「災害」であるかどうかが決まります。この場合の「災害」とは、人びとが住む場所、家の種類、政情不安、弱い立場にある人たちを守るための積極的な措置の欠如といった人間的な要素によって影響を受ける結果を指します。つまり、災害とはリソースや権力へのアクセスにおける体系的な不平等の結果だということです。私たちがどこに住み、どれだけのお金を持っているかが、しばしば回復力を左右します。最も影響を受けているのは、貧困の中で暮らしている人びとであり、自らを守る手段がほとんどなく、次の出来事に耐えるための手段もほとんどありません。

これらの出来事を「自然」なものとして見なすことで、私たちは弱い立場にある地域社会を守るための積極的な措置の必要性を弱め、疎外された恵まれない地域社会に大きな影響を与えている社会的、経済的、政治的な不安といった根底にある問題を覆い隠してしまうのです。私たちのチームは、不平等、貧困、都市化、森林破壊、気候危機などの問題がどのように地域社会を脆弱化しているかを目の当たりにしています。

シェルターボックスでは、単に「災害」と表現する場合もあれば、極端な天気、地震、津波、火山噴火をより具体的に表現する場合もあります。これまでのやり方をやめて、なぜ人びとが甚大な被害を被っているかを正しく反映する言葉の使用を心掛けていただくことを皆さまに強くお願いいたします。

そうすることで初めて、脆弱性の根底にある原因に取り組み、被災した地域社会を守るために必要な投資、リソース、積極的な措置を講じて、すべての人にとってより公正で公平な未来に向けて取り組む道が開かれます。

「災害」は自然のものではありません。「自然」という表現はやめましょう。



世界がつながるにつれ、専門家たちは社会問題をグローバルに捉えるようになっていきます。それは心

に関しても同様です。グローバル・メンタルヘルスという新たな学問分野では、各国でどのように心理的問題が診断され、治療が行われているのかを探索しています。

最近、ロータリークラブと地区は、キングス・カレッジ・ロンドンとロンドン大学衛生熱帯医学大学院でグローバル・メンタルヘルスを学ぶ4名の学生を支援しました。これらの学生は、心の健康に影響を与える社会的傾向、文化的慣習、政治的・経済的背景について研究を行っています。

ロータリークラブと地区の支援を受け、新しい学問分野の発展に取り組む奨学生をご紹介します。

ジェイデン・ジョイナー (Jaeden Joyner)
スポンサー: Chiswick & Brentford ロータリークラブ (英国)、および第 6860 地区 (米国)

この修士課程を見つけるまで、グローバル・メンタルヘルスが独立した分野だとは知りませんでした。この修士課程では、公衆衛生と、文化的認識や文化の違いを医療に取り入れることに重点を置いています。

メンタルヘルスの状態には実にさまざまな違いがあることを学びました。世界のどこにいるかによって症状は異なり、メンタルヘルスの問題に対する考え方も、人によってまったく異なります。例えば、“depression” (うつ病) や “anxiety” (不安症) という言葉は使わない国もたくさんあります。「うつ病を治療する」と言っても、何のことも分からない人もいでしょう。言葉だけでなく、概念がまったく異なることもあります。インドの「声が聞こえる」女性の話を聞いたことがあります。西洋の概念では、おそらく統合失調症と診断されるでしょう。しかし、彼女の文化では、それはスピリチュアルなものと結びつけられます。また、中低所得国におけるメンタルヘルスのインフラストラクチャーの中での活動にも重点を置いています。多くの国では、メンタルヘルスの専門家がほとんどいません。そのため、コミュニティ・ヘルスワーカーを代わりに起用することが非常に多いのです。これらのヘルスワーカーは、低度の介入を行うための訓練を受けたコミュニティのメンバーです。その好例が、ジンバブエのフレンドシップ・ベンチです。

